

【報告】第2回情報交換会

2024年12月5日（茨城・つくば）

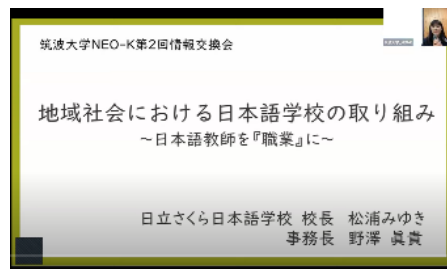
12月5日(木)、茨城県の日本語教育をテーマとした情報交換会をハイフレックス形式で開催しました。

はじめに、日立さくら日本語学校の松浦みゆき校長先生から、日本語教室のボランティア養成や、プレスクール(就学前の日本語指導・学校生活指導)の試行など、地域に貢献する日本語学校の取り組みなどについて、お話を伺いました。事務長・野澤眞貴様からは、ビザ更新や生活サポートなど、多岐に渡る業務についてご紹介いただき、日本語教師という職業の魅力について語っていただきました。

笠間市役所職員の深谷雄太様からは、外国籍人材の正職員採用について、キジニヤク・ボーダナ様からは、業務で直面している日本語の課題について、オンラインで話していただきました。業務中は敬語の使用や文書作成、手書き文字の理解が難しく、文書作成のトレーニングが必要というご意見を頂きました。国際交流協会専務理事の木村美枝子様からは、地域日本語教室の取り組みについてお話を伺いました。

その後、対面会場では、参加者同士で情報交換する時間を設けました。日本語教室の開設準備をしている自治体職員の方が長年日本語教室の運営に携わってきた国際交流協会の職員の方からアドバイスを受けたり、普段なかなか交流できない地域の日本語教育関係者同士が情報交換したりするなど、茨城県内の日本語教育関係者が組織を超えてつながる時間となりました。

 報告書 



【発表資料】
日立さくら日本語学校 校長 松浦みゆき氏
事務局 野澤眞貴氏
「地域社会における日本語学校の取り組み
～日本語学校を『職業』に」
※登壇者の所属は、発表当時のものです

